

江南区自治協議会 令和5年度 第2回 まちづくり部会 会議概要

【開催概要】

- 名称：江南区自治協議会 令和5年度 第2回まちづくり部会
- 日時：令和5年5月25日（木）午後3時30分～午後4時30分
- 場所：江南区役所 入札室
- 出席委員：倉島委員、上村委員、小野幸男委員、小見委員、田村委員、小野直樹委員、小菅委員、伊藤委員、岡野委員 以上9名（欠席：山本委員 以上1名）
- 事務局：建設課長、産業振興課長補佐、地域総務課係長、地域総務課主事 以上4名
- 傍聴0名

【審議内容等】

両川マップの作成について

事務局より配布された両川地区の地図や、歴史・文化に関する資料などを確認しながら、情報交換を行った。秋頃に実施する予定のまち歩きに向け、掲載スポットの絞りこみを行うとともに、マップのコンセプトを決定していくこととなった。

<主な意見>

- ・両川は、かつての割野村、嘉瀬村、酒屋村、和舞村という4つのエリアに分けることができ、寺院を中心として多様な文化が栄えている。
- ・平賀にある誓慶寺は、越後七不思議の一つである「焼鮎」のエピソードの舞台である。また、割野祭りのお花人形、嘉瀬祭りの神楽、酒屋祭りの太々神楽といった、エリアごとに特色のある文化が残っている。
- ・酒屋はかつて会津藩領であり、陣屋が設置されていた。
- ・両川は小阿賀野川と信濃川という2本の河川に面した地域であり、過去から現在まで水と深い関わりを持っている。
- ・酒屋には17世紀から船着場が存在し、信濃川から小阿賀野川を通過して阿賀野川へ上る舟が行き交う水運の要衝として栄えていた。
- ・上和田地区と和田地区は信濃川と小阿賀野川の合流地点が近く、頻りに堤防の決壊が起きていた。このため、現在もこの2地区の破堤箇所周辺には住宅が存在していない。
- ・豊富な水資源を生かした梨栽培が現在も盛んである。

以上

江南区自治協議会 令和5年度 第2回 安心安全部会 会議概要

【開催概要】

- 名称：江南区自治協議会 令和5年度 第2回安心安全部会
- 日時：令和5年5月25日（木）午後3時30分～午後4時50分
- 場所：江南区役所 302 会議室
- 出席委員：石井委員、石澤委員、間島委員、本間委員、永村委員、清野委員、茂木委員、田口委員 以上8名（欠席：豊嶋委員、上田委員 以上2名）
- 事務局：健康福祉課長、地域総務課課長補佐、同課主査 以上3名
- 傍聴：0名

【審議内容等】

1 今年度の安心安全部会の活動について

- ・事務局より、再度今年度のスケジュールについて説明があった。

2 部会として解決したい日頃感じている課題などについて（意見交換）

- ・各委員が普段感じている部会として解決したい課題について意見交換を行った。

<主な意見・課題>

◆防災分野

- ・災害時の車で避難する際の注意点や古い建物の耐震化の周知が必要である。
- ・避難所運営委員会の立ち上げを行っているが、立ち上げが進んでいない自治会へは全国的な背景や地元の過去の災害など、丁寧な説明が必要である。
- ・洪水時の高台避難場所（緊急一時避難場所）が不足している。
- ・介護が必要な高齢者の避難について検討の必要がある。

◆福祉分野（子育て）

- ・江南区は子育て世帯向けのイベントが少ないと感じる。
- ・子育て世帯は声を上げづらい環境にある。
- ・産前産後の女性へのサポートが不足していると思われる。
- ・高齢者と子育て世帯が交流の場が少なく、更に子供と高齢者の交流が減少している。

◆福祉分野（高齢者）

- ・女性に比べて高齢男性は、地域の茶の間などの利用率が低いため、男性の孤立化を防ぐために男性の交流場（サロン）について検討する必要がある。

→次回は、さらに課題について意見交換し、過去の取り組みをふまえ、解決していける課題をしぼりこみ、事業実施に向けた検討を実施する。

江南区自治協議会

令和5年度 第2回 環境・教育部会 会議概要

【開催概要】

- 名称：江南区自治協議会 令和5年度 第2回環境・教育部会
- 日時：令和5年5月25日（木）午後3時30分～午後4時30分
- 場所：江南区役所 301会議室
- 出席委員：渡邊委員、齋藤委員、加藤委員、天野委員、伊田委員、丸山委員、樋浦委員、堀川委員、中野委員 以上9名（欠席：今井委員 以上1名）
- 事務局：区民生活課長、江南区教育支援センター所長、亀田地区公民館長、亀田図書館長、地域総務課主査 以上5名
- 傍聴0名

【審議内容等】

1 これまでの環境・教育部会の活動について

- ・事務局より、これまでの環境・教育部会の活動について説明があった。

2 部会として解決したい日頃感じている課題などについて（意見交換）

- ・各委員が普段感じている部会として解決したい課題について意見交換を行った。

<主な意見>

- ・子どもは少なくなってきたが、実態として先生が足りていない。
- ・特に小学校1年生の始めの時期は、ボランティアに頼っている状況。ボランティアを有償化するなど人数を増やすことはできないか。
- ・小学校1年生は、行きは上級生と集団登校だが、帰りは1年生だけで帰ってくる。家が分からなくなる子がいて困ってしまったことがある。地域と学校との密な連絡体制を構築したい。
- ・中学校等で話す機会があると、将来の夢について聞かれることが多い。キャリア教育といった観点からできることがあるのではないか。
- ・会社の考えもあるだろうが、整備士や物流に携わっている人など、地域の身近なサラリーマンがキャリア教育に携わることもよいのではないか。
- ・庭木の管理ができない人がいるが地域ぐるみで支援している。高齢化が進展し、今後そういう事例が増えてくると思う。

→さらに課題について意見交換しながら、環境・教育部会として解決していける課題をしぼりこみ、事業実施に向けた検討を実施する。

江南区自治協議会 令和5年度 第1回 総務特別部会 会議概要

開催概要

- 名称：江南区自治協議会 令和5年度 第1回総務特別部会
- 日時：令和5年6月13日（火）午後2時～午後3時
- 場所：江南区役所 301会議室
- 出席委員：石井委員、間島委員、石澤委員、田村委員、中野委員 以上5名
（欠席：渡邊委員）
- 事務局：地域総務課係長、同課主査1名
- 傍聴0名

審議内容等

1 部会長・副部会長の選任について

部会長及び副部会長の互選を行なった結果、部会長に中野委員、副部会長に石井委員が選出された。

2 議事

(1) 江南区自治協議会委員推薦会議について

- ・第8期の構成員を決定した際と同様、推薦会議や自治協の経験、地域や男女のバランスなどを考慮して選出。
- ・協議の結果、下記の委員を9期の推薦会議委員の案とすることとした。

第1号委員：渡邊委員（亀田）、石澤委員（亀田）、山本委員（横越）、
上村委員（曾野木）、伊田委員（両川）、丸山委員（大江山）

第2・3号委員：田村委員、上田委員、樋浦委員、堀川委員

(2) 区自治協議会委員研修会について

- ・昨年度予定していた曾野木地区での視察は、大雪で中止となったことから、今年度も曾野木地区で実施することとする。

開催予定時期：9月下旬～10月中旬

視察予定先：信濃川浄水場、親松排水機場、天野河川防災ステーション、曾野木
コミュニティセンター

(3) 第9期自治協議会の更なる活性化について（意見交換）

- ・委員の女性割合が江南区は33.3%となり、北区、西区と同率だが、8区で最低となっている。市の目標は45%のため、各団体からの推薦にあたっては、女性委員を推薦してもらえよう働きかけを強めることとする。
- ・自治協提案事業「地域課題解決サポートプロジェクト」は、昨年度は2団体のみの活用にとどまったことから、区づくり予算の編成の過程で活用状況の共有を図るとともに、各委員の意見を伺いながら、見直しが必要かどうか検討していくこととした。